



「自分の命は、自分で守る」訓練を通して確かめた子ども達

○「交通安全教室」で、命の大切さを確かめました。 5月8日

今年も、美方警察の方に来ていただき、全校生対象の交通安全教室を実施しました。全体で、交通安全についての話を聞いた後、低学年は実際の道路での安全歩行、中・高学年はビデオを通した自転車の乗り方の学習をしました。先日も、他県で園児が巻き込まれる痛ましい事故が報道されました。交差点と横断歩道では、青信号でも、もう一度確かめて渡ることが大切です。また、本校では、保護者のご理解によって、児童は、自転車に乗るとき、ヘルメットをかぶることが定着してきました。こけても、大事な頭を守ってくれるヘルメットです。でも、自転車も乗り方によっては、加害者になることもあります。自転車のわき見運転で、歩行者に大きなけがを負わせることもあります。この学習を通して、命の大切さをしっかり学んだ子ども達でした。



○避難訓練、引渡し訓練を実施しました。5月9日

今年で3年目になります引渡し訓練を、実施しました。

事前に、地震による避難訓練を実施しましたが、初めての1年生も緊張した中、静かに担任の指示に従って運動場に避難することが出来ました。その際、きちんと防災座布団をかぶり、頭を守っている姿が印象的でした。中には、座布団のない児童もいましたが、代用として教科書をひろげて頭を守っていました。防災座布団を使って大切な頭を守ることを確認することが出来ました。全体指導で、担当から避難の際の注意事項を聞き、みんなで「自分の命は、自分で守る」ことをたしかめました。



その後の、引渡し訓練には、平日の午後にも関わりませず、多くの保護者の皆さんに来ていただきました。事前にお知らせしていましたが「引渡しカード」に避難場所(連絡先)も記入していただき、児童を一人一人確認して引渡しました。

いざという時、大切な命を守る訓練を、実施することが出来ました。ご理解とご協力、本当にありがとうございました。どうか、これを機会に、ご家庭でも、いざという時の避難場所、連絡の取り方等の確認をよろしくお願いいたします。

「グッドフレンドタイム」 群れて遊ぶ楽しさと関わりの知恵を磨く。

学校では、毎月第2水曜日昼休みを「グッドフレンドタイム」として、ペア学年で教室や体育館、運動場で遊ぶ時間としています。ペアは1年-6年、2年-4年、3年-5年で、高学年が遊びを計画し、低学年といっしょになって遊びます。「どろけい」や「手つなぎおに」、 「ジャンケン列車」などを、高学年がルールを説明してから始めます。活動を通して、群れて遊ぶ楽しさと、いろんな人との関わりの知恵を磨く場となっています。そして何より、児童はとても楽しみにしていて、あちらこちらから、笑顔と元気な声が、沸きあがってきました。

